

Toshio Nakajima

Tenor Recital

中嶋俊夫

テノールリサイタル

たんぽぽの季節に
横浜国立大学退職を記念して

PROGRAM

F. P. トスティ / 最後の歌
Francesco Paolo Tosti (1846-1916) / L'ultima canzone

A. スカルラッチィ / 堇
Alessandro Scarlatti (1660-1725) / Le violette

G. パイジェット / もう私の心には感じない
Giovanni Paisiello (1740-1816) / Nel cor più non mi sento

G. ジョルダニ / 私の愛しいひとよ
Giuseppe Giordani (1751-1798) / Caro mio ben

V. ベッリーニ / 優雅な月よ
Vincenzo Bellini (1801-1835) / Vaga luna

G. ドニゼッティ / ぼくは家を立てたい
Gaetano Donizetti (1797-1848) / Me voglio fà 'na casa

S. ドナウディ / ああ、わが愛する人の
Stefano Donaudy (1879-1925) / O del mio amato ben

A. カゼッラ / うるわしい娘、私の心の光(《14世紀の3つの歌》より)
Alfredo Casella (1883-1947) / Giovane bella, luce del mio core "3 canzoni trecentesche"

I. ピッツェッティ / ペトラルカの3つのソネットーラウラの死に寄せて—
Ildebrando Pizzetti (1880-1968) / 3 sonetti del Petrarca—In morte di Madonna Laura—

- i 人世ははかなく、時は止まることなし
La vita fugge e non s'arresta un'ora
- ii やさしく鳴く夜うぐいす
Quel rosignuol che si soave piagne
- iii わが想い高みにわれを運びゆく
Levommi il mio pensier in parte ov'era

山田耕筈 (1886-1965) / 鐘が鳴ります あわて床屋(北原白秋)

中田喜直 (1923-2000) / またある時は たんぽぽ(三好達治)

島田 広 / 星三題～七首の和歌と短歌による～[新作初演]

1. 天の海に雲の波立ち月の船(柿本人麻呂)
照る月の流るる見れば天の川(紀貫之)
2. 日暮るれば山のは出づる夕づつ(壬生忠岑)
月をこそ眺めなれしか星の夜の(建礼門院右京大夫)
たらちねの母がなりたる母星の(正岡子規)
3. 明けわたる雲間の星のひかりまで(藤原家隆)
東明の星のかがやき仰ぎつつ(若山牧水)

photo by
F. Uchino

作曲・ピアノ

島田 広

Composition & Piano
Hiroshi Shimada

2025 **3/14** **金** 午後7時開演
(午後6時30分開場)

横浜みなとみらいホール

小ホール Tel. 045-682-2000

Ticket 3,000円〈全自由席〉

公演問合せ ヴェントゥーノ・ピーニ Tel. 090-9133-6323

チケット取扱い 横浜みなとみらいホールチケットセンター

Tel. 045-682-2000

【主催】ヴェントゥーノ・ピーニ 【後援】東京藝術大学音楽学部同声会

退職記念リサイタル開催にあたって

横浜国立大学教育学部で教員養成に携って24年が経過し、2025年3月末に本学を退職することになりました。前任校のお茶の水女子大学附属高校での12年、奈良県公立高校や大学での非常勤を含めると40年間、生徒・学生、先輩・同胞諸氏に恵まれ、教育・研究の経験を積み重ねることができましたことに、万感の思いと感謝の気持ちでいっぱいです。この音楽教育に携わる日々の充実があったからこそ、表現者としても音楽に向かいつづけることができた、いま感慨深く振り返っています。退職という節目に開催する今回のリサイタルが、皆様と敬意をお伝えするとともに、音楽とともに歩んできた現在の私の表現をお届けする機会になれば幸いです。

本リサイタルのために、長年の同志である島田広先生が、私のための願いに応えて新作歌曲を作曲してくださいました。ピアノの共演とともに、プログラムに魅力的な花々を添えてくださった島田広先生に心より感謝申し上げます。どうか島田先生の作品と演奏にご期待ください。

三月弥生、たんぽぽが咲き始めるころ、皆様とともに心あたかなひと時を過ごせますようお願いつつ、ここにリサイタルのご案内を申し上げます。

中嶋 俊夫



Toshio
Nakajima
Tenor

中嶋 俊夫 (テノール)

1960年1月生まれ、大阪府出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院音楽研究科修了、イタリアのマチェラータ大学に留学。都留音楽祭、イタリアのウルビーノ古楽祭など、国内外の音楽祭に参加し研鑽を積む。1989年に伊藤誠(ヴァイオリン)、浜中康子(ピアノ)とともに結成されたグループ〈レ・カマラド〉のコンサート活動を定期的に続ける一方、ソロ・リサイタルを2001年に〈イタリアの風にのせて〉、2004年に〈イタリアのロマンツァ・ロシアのロマンス〜スティとチャイコフスキーの夕べ〉、2007年に〈20世紀前半のイタリア歌曲〜レスピーギ、カゼッラ、ピッツヴェッティ〉、2015年に〈イタリアの古典と20世紀前半のリリカ〉と題してトッパンホール(東京)で、2024年1月には〈フランスとイタリアの近代歌曲〜20世紀の新しい音楽語法開拓への潮流〉と題して横浜みなとみらいホール(小ホール)で開催。オーケストラや合唱団との共演も数多く、ヘンデルの《メサイア》、ハイドンの《天地創造》、ロッシーニの《小荘厳ミサ》、モーツァルトの《レクイエム》、J.S.バッハの《クリスマス・オラトリオ》ほか、教会カンタータや受難曲など、ミサ曲、オラトリオを中心にソリストとして活躍する。研究活動の中心は音楽教育であり、特にイタリアの音楽教育について継続的に研究を進め、テアトロ表現教育に関する研究(日本学術振興会科学研究費助成による調査研究)をはじめ、すべての人が音楽を学べるインクルージョンに向けた音楽施策の創意と実践、インクルーシブ・オーケストラ活動等について研究成果を発表している。また、神奈川県を中心に小・中・高等学校の音楽教育活動の推進にも尽力する。元お茶の水女子大学附属高等学校教諭。これまでに日本女子大学、星美学園短期大学、および放送大学(神奈川学習センター)で非常勤講師を務める。横浜国立大学教育学部教授(2015~2018年度に附属横浜中学校長兼任)、東京藝術大学音楽学部非常勤講師。

島田 広 (作曲・ピアノ)

1963年高知市生まれ。東京藝術大学音楽学部作曲科を卒業、同大学院を修了。学部在学中に安宅賞を受賞。1992年日本交響楽振興財団作曲賞に入選。作品として、ソプラノと室内楽のための「萩原朔太郎による三つの歌」(1991年初演)、フルートとピアノのための「反歌」(1995)、弦楽四重奏のための「緑の展開」(2007)、テノールとピアノのための「高村光太郎の詩による『山』」(2008)、やなせたかしのメルヘンによる室内楽付き二重唱「シドロとモドロ」(2011)および混声合唱曲「サボテンの花」(2012)、クラリネットオーケストラのための「風の三章」(2016)、六手連弾のための「伝説」(2017)、クラリネットとピアノのための「流れ」(2021)、ソプラノと室内楽のための「甲藤卓雄の句による『四万十の石ころひとつ夏惜しむ』変奏曲」(2024)など。その他、様々な式典音楽の作曲も手掛けてきた。近年は作曲活動と並行して、「安部敦子ヴァイオリンリサイタル」や「菅生千穂クラリネットリサイタル」にてそれぞれ連続して伴奏をつとめるなど、ピアノ演奏も活発に行っている。現在、横浜国立大学教育学部教授。作曲家団体「21世紀音楽の会」会員。



Hiroshi
Shimada
Composition
& Piano



横浜みなとみらいホール 小ホール

みなとみらい駅(東急東横線直通/みなとみらい線)下車、「クイーンズスクエア横浜連絡口」より徒歩3分
桜木町駅(JR 京浜東北線・根岸線/横浜市営地下鉄)下車、動く歩道からランドマークプラザ経由でクイーンズスクエア1階奥(徒歩12分)